

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 19 みこえきくとて	讃美歌 225 すべてのひとに
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 ダニエル書 7:13~14	黙 禱
マタイによる福音書 28:16~20	主の祈り 564
讃美歌 166 イエスキミは	頌 栄 541 父、み子、みたまの
説 教 『復活にひれ伏す者、疑う者』	祝 禱 後 奏

復活したイエスは女たちに告げた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる(マタイ28:10)」。それを聞いた「十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示しておかれた山に登った(28:16)」。「ガリラヤと言えばあの山(5:1)」という予測が弟子たちにあったのか、それとも女たちに託された伝言で場所まで指定されたのか。

それにしても、復活のイエスに会った弟子たちの驚き、喜び、混乱、心の変化が語られていないのはどうしてだろう。女たちの心情は記されているのに(28:8~9)、ユダが欠けた11人の直弟子については「イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた(28:17)」と妙にそっけない。ひれ伏す者と疑う者。実際にはAかBかという区分けではなく、「信じる」ことの諧調的な違いではないだろうか。

「イエスは近寄って来て言われた。〈わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を受け、あなたがたに命じていたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる〉(28:18~20)」。「すべての民」、つまり全世界の民をイエスの弟子にするという事か。

かつてイエスが「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる(5:9)」と語ったこの山で、「命じていたことをすべて守るように教えなさい(28:20)」と告げた。ただ「父と子と聖霊の名による洗礼」を受けた者たちが戦争に積極的である今の世を考えると、「世の終わり」は遠いなあと思う。世の終わりは遙かに遠くても、キリストは「いつも私たちと共におられる(28:20)」。

辺境のガリラヤの山の上。そこには「疑う者」も含む11人の弟子たち。そんな彼らに「すべての民を弟子にせよ」とは非現実的ではないか。いや直弟子から枝分かれする各地の弟子がキリストを宣べ伝え、一人ひとりが「神の子」にされる。そのためには、一定数いる「疑う者」の役割も重要。

いつまでも疑ったままでいいわけではないが、洗礼を受けなくてもキリストの言葉を聞くことそれ自体が恵みではないか。当人の納得や自覚に至らなくても、宣教が「信徒を増やす」という成果にならなくても、キリストが宣べ伝えられる所には「聖化」が起こる。それに「疑う者」や「まだその時ではない者」がいる教会の方が風通し良いではないか。風通しが悪い息苦しさは、福音ではない。

「〈すべてのものを彼に従わせられた〉と言われている以上、この方に従わないものは何も残っていないはず。しかし、わたしたちはいまだに、すべてのものがこの方に従っている様子を見ていません(ヘブライ2:8)」。すべてがキリストに従っているはずだが、自分たちにはそう見えない。いやあ実に率直で、信仰的で、深い「安心(あんじん)」ではないか。そうは見えなくても、「そう」なのだ。

私たちもこうしたキリスト者の「安心」を得て、その瞬間その瞬間を充足している。「いつもあなたがたと共にいる(マタイ28:20)」という約束を信ずるがゆえの「その瞬間」だ。キリストは今ここで、今日も、昨日も、明日も、私の生が「終わりの日」に届かなければ、その先の永遠で共におられる。

「見よ、〈人の子〉のような者が天の雲に乗り〜諸国、所属、諸言語の民は皆、彼に仕え、彼の支配はとこしえに続く(ダニエル7:13~14)」。私たちの時はその途上で、今日もキリストを分かち合っている。

信ずること 疑うこと 急激な段差があるわけではない グラデーションで 斑状に分布している  
生きてる人間の生きた信仰 漂う信仰 自然なそのままだよ uest uest uest  
キリストの約束内にあるのだから

本日礼拝後は役員会、カレーの日はお休み。教会総会は4/21の礼拝後、会員の皆さんは予定して下さい。総会資料は4/14に配布。牧師の動き:4/10(水)午前YMCAで聖書の話、午後は刑務所教誨。  
礼拝堂・集会所の住所:408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3  
連絡・問い合わせは牧師へ:408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008  
eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。